経営理念

創業者の
想いと共に

「いつの時代も、
お客さまのためにあれ」

初代社長 団 琢磨が、国民に奉仕するという目的をもって
創業時に掲げた価値観です。
大樹生命の「お客さま本位」の精神は、変わることなく
誇りと伝統をもって受け継がれています。

【経営理念】

相互扶助の精神に基づく生命保険事業の本質を自覚し、その社会的責任を全うするため、
卓抜した創意とたくましい実践をもって盤石の経営基盤を確立し、
会社永遠の発展を期することを決意して、ここに経営理念を定める。

1. 社会の理解と信頼にこたえる経営を力強く推進し、国民生活の福祉向上に寄与する。

1. まごころと感謝の気持をもって、常に契約者に対する最善の奉仕に徹する。

1. 従業員の能力が最高に発揮できるようにつとめるとともに、その社会生活の安定向上をはかる。

2019年4月、将来にわたる成長ストーリーを描くタイミングで、
三井生命から大樹生命に社名を変更し、
新社名・新ブランドで更なる成長を目指すこととしました。

社名には、“大樹”のように「大地にしっかりと根を張り、
晴れの日も雨の日もしっかりとお客さまを守り、
多くの人が集まってくる保険会社を目指そう」という想いを込めています。

おかげさまで、多くのお客さまからご支持をいただいております。